

2025

SUPER GT
RACE REPORT

Rd.4

8.2[sat] - 3[sun]

[place] 富士スピードウェイ (静岡県小山町)

[weather] **sat** 晴れ・曇り・雨 / **sun** 晴れ

[spectators] 52,300人 (**sat** 24,900人 / **sun** 27,400人)

FUJISPEEDWAY

Rd.1 OKAYAMA >>>> APR 12-13

Rd.2 FUJI >>>>>>> MAY 03-04

Rd.3 SEPANG >>>>> JUN 27-28

Rd.4 FUJI >>>>>>> AUG 02-03

Rd.5 SUZUKA >>>>> AUG 23-24

Rd.6 SUGO >>>>>>> SEP 20-21

Rd.7 AUTOPOLIS >>> OCT 18-19

Rd.8 MOTEGI >>>>> NOV 01-02

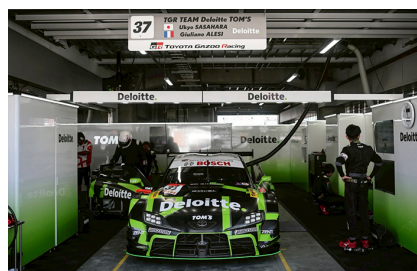


TOM'S

初のスプリントレース方式で開催。
笹原は 8 台抜きで 3 位表彰台、
アレジも最後尾から 7 位フィニッシュ。



2025 AUTOBACS SUPER GT Round4 FUJI GT SPRINT RACE が、8 月 2 日 (土)、3 日 (日) に富士スピードウェイで行われた。シリーズの公式戦としては初めての開催となったサクセスウェイトなしのスプリント方式で、#37 Deloitte TOM'S GR Supra は、Race1 担当の笹原右京が 8 台を抜いて 3 位表彰台に上がった。Race2 を担当したジュリアーノ・アレジも最後尾から追いつき 7 位入賞を果たした。



TGR TEAM Deloitte TOM'S

Rd.4 Result

	Race1	Race2	
Qualifying	11 位	15 位	Driver Standings 2 位
Race	3 位	7 位	Team Standings 2 位

	Race1 : 笹原	Race2 : アレジ
Qualifying	P11 / 1'28.937	P15 / 1'29.743
Race ファステスト ラップタイム	P3 / 1'29.618	P7 / 1'29.390

Race1

予選 天候：晴れ／気温：33℃／路面温度：54℃
 決勝 天候：曇り時々雨／気温：34℃／路面温度：57℃



**予選で攻めの戦略が裏目に出るも、
 決勝ではしっかりと挽回。
 笹原がバトルを制し3位表彰台。**

シリーズ戦では初めての導入となったスプリントレース。途中のタイヤ交換や給油、ドライバー交代の義務はなく、土曜日と日曜日で別々のドライバーがドライブ。さらにサクセスウェイトも全車搭載なしに統一され、車両とドライバーのパフォーマンスが試される大会となった。37号車のRace1担当は笹原。公式練習から2番手タイムを記録し、調子の良さがうかがえた。続く予選では、ポールポジションを狙ってマシンのセッティングを変更したが、それがコンディションにうまく当てはまらず苦戦。決勝は11番グリッドから巻き返しを狙う。

35週の両クラス混走形式で争われた決勝では、序盤から前方のライバルを次々と追い抜き、7周目には6番手まで浮上した。その後はライバルも手強く、接近戦のバトルが続いたが、笹原は冷静に相手の隙を突いてオーバーテイクしていき4番手でフィニッシュ。前方の車両にタイムペナルティが出たため、繰り上がりで3位表彰台を獲得した。

Race2

予選 天候：晴れ／気温：31℃／路面温度：43℃
 決勝 天候：曇り／気温：29℃／路面温度：37℃

**アレジが最後尾から、
 渾身の追い上げをみせる。
 8ポジションアップの7位入賞。**



3日（日）のRace2はアレジが担当した。予選では僅差の戦いのなかで8番手タイムを記録したが、ピットに戻る際に入り口の白線を跨いだため、ベストタイムが削除されるペナルティを受けた。これにより最後尾からスプリントレースに臨む。

雨の心配もあるなかRace2がスタート。前日とは異なりGT500クラスのみで50分の時間制でレースが行われた。混走では無いため追い抜くチャンスが少ないなか、アレジは1周目から積極的に仕掛けていき、1周目で4ポジションアップに成功。その後も前日同様、ペースの良さを活かして前をいくライバルたちを次々と抜いていった。スタートから30分が経過したところで8番手に浮上したアレジは、さらに上位を目指してライバルと競り合う。途中、バトルで行き場を失い、コースオフを喫してタイムロスする場面もあったが、最終ラップまで諦めずに前を追いかけて続ける走りを披露し、最終的に7位入賞を果たした。



予選の順位を考えると、
これ以上ない結果です。

ドライバー 笹原 右京

公式練習での感触は良く、予選ではトップを狙ってクルマのセッティングを攻め過ぎたところがありました。トライをした結果だと思っていますが、予想以上に後方からのスタートとなりました。決勝では数周して展開がある程度落ち着くと追い抜くのは難しいですが、そのなかで相手との細かな差を見つけて順位を上げていきました。予選のポジションを考えるとこれ以上ない結果だと思っています。



レースペースは良かったので、
次はミスがないようにしたい。

ドライバー ジュリアーノ・アレジ

予選はミスコミュニケーションがあって、残念な結果になりました。だけど、決勝のペースはすごく良かったと思う。もっと前の位置からスタートできていれば表彰台に行けるだけのペースはあったと思います。今日のスタートポジションを考えると、最大限のことはできましたし、ポイントを獲得することができたのは良かったです。次戦以降、同じミスはしないようにして引き続き頑張っていきます。



チーム監督 ミハエル・クルム

右京のオーバーテイクは素晴らしかったです。まさか3位まで上がってくるとは思わなかった。予選はセッティングの部分でうまくいかなかったところがありましたけど、レースペースの良さを確認できたのは、2レース目に対して好材料になりました。ジュリアーノは最後尾スタートになって厳しくなると思いましたが、素晴らしい追い上げをみせてくれて、シリーズポイントでも2位を死守できました。そこはポジティブなことです。



チームオーナー 館 信秀

まずは笹原のオーバーテイクショーは素晴らしかったです。予選では1号車を意識して欲をかいたところがありましたけど、最後はしっかり3位まで挽回してきて、1号車の坪井とともに表彰台に上がったのは嬉しかったです。2レース目のジュリアーノも7位まで順位を上げて、良いパフォーマンスを出してくれましたし、1号車も2位に入ったので、TOM'Sとしては90点のレースだったかなと思います。次戦もたくさんの応援をよろしくお願いいたします。

Deloitte.

BINGO

YET-FOR

ZENT

GR TOYOTA GAZOO Racing

TGR-D

BRIDGESTONE

OKANO Express

ほうらいせん
www.houraisen.co.jp

ISSE

BRIDE

かいよく

S&D TAMA GROUP

AUTHOR

PARTS.CO.JP

ENKEI

ThreeBond

HRX

Mizuno

MECHANIX WEAR